

避難時の注意点

戸締り・ガス・火元・電気のチェック!

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。
避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょう。



車での避難は控える!

緊急車両の通行の妨げになります。
浸水すると動けなくなりますので危険です。



速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。
災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。

洪水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。
水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。
ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。
土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



危険な前触れを知る

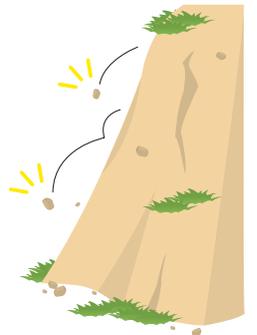
地すべりの前兆

- 沢や井戸がにごる
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が吹き出す



がけ崩れ・山崩れの前兆

- がけに割れ目が見える
- がけからごり水が湧き出る
- がけから小石がぱらぱら落ちてくる



土石流の前兆

- 山鳴りがする
- 急に川の流れがにごり、流木が混ざってくる
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる

**雨量が1時間に20ミリを超える場合や、
降り始めからの雨量が100ミリを超える場合は、
特に注意しましょう。**

直前対策!台風の進路にあったら

屋外では

- 物干し竿や物干し台は寝かせ、自転車なども風で飛ばされないように柱などに結びつけておく。
- 庭木に支柱を立てたり、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは屋内に入れておく。
- 側溝にたまった落ち葉などを取り除き、排水を良くする。雨どい・雨水ますの掃除もしておく。
- 窓や雨戸をしっかり閉め、外側から板などで補強しておく。
- かわらやトタンが飛ばされないように補強しておく。
- 浸水の危険がある場合は、日頃から土のうなどを準備しておく。



屋内では

- テレビやラジオなどの気象情報に十分注意する。
- 浸水に備えて、家財道具や食料・衣類・寝具などの生活用品は高い場所へ移動させ、貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
- 懐中電灯や予備の電池を準備する。
- 断水に備えて、飲料水を確保する。浴槽に水をはるなどしてトイレなどの生活用水も確保する。
- 外からの飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドは下ろしておく。

